はじめに　3

第一章　百済の王統を考える　――沸流系と温祚系と仇台系――　13

1　東アジアの人たちの歴史　14
2　百済の始祖は三人　21
3　王統三派の一系化　27
4　百済滅亡の真相　32
5　牟都と牟大の登場　41
6　倭王がほしがった百済諸軍事　46

第二章　好太王碑文を考える　――倭＝残国という論理について――　53

1　永楽五年と六年の条の間　54
2　卑弥呼後の倭国　57
3　日本にもあったアリナレ川　64
4　神功→武内→百済宗家の流れ　70

5 『任那興亡史』を疑う 75
6 好太王碑文の中の『日本書紀』 79

第三章 倭の五王を考える ——沸流系倭王と温祚系倭王—— 85

1 兄王の渡来と倭王讃 86
2 倭王に仕えた温祚百済宗家の骨族 90
3 五王の遣使 95
4 興・武の父は近蓋婁王 100
5 七支刀の銘文と倭王旨 107
6 武王前後の百済の檐魯 116

第四章 「磐井の乱」を考える ——継体が創始した九州年号—— 123

1 継体紀の中の「磐井の乱」 124
2 『二中歴』の中の継体 128
3 人物画像鏡の中の継体 132
4 解けた十三年の差 137
5 「磐井の乱」の真相 145
6 倭の五王朝の滅亡 151

第五章　『二中暦』を考えるⅠ　――鹿鹿・尾輿から上宮王家まで――　157
1　元号制定権の継承　158
2　並立した九州年号　174
3　改元と主権者の交代　182
4　丁未の変の真相　188
5　上宮王家の誕生　197
第六章　『二中暦』を考えるⅡ　――上宮王家から高市天皇まで――　203
1　上宮王家の上宮皇子たち　204
2　舒明が継いだ上宮王家　211
3　隠された上宮王家の相続問題　218
4　王系の抬頭と白江前夜　223
5　天智と天武　233
6　白江以後の政権　240
■引用した文字資料の出典及び参考文献　249

解説　九州発・古代史学の画期的な成果（添田馨）
おわりに　269
カバー装幀◎遠藤カヲル